

単元目標 (育成したい資質・能力)	・ならずことでより妥当な数値が得られる場合は平均を求めるとよいことや、「平均」の用語とその意味や求め方を理解し、いろいろな場面について平均をもとめることができる。(知識及び技能) ・平均の求め方を図や式等を用いて考え、説明したり、平均を活用して問題を解決したりすることができる。(思考力、判断力、表現力等) ・平均を用いるよさに気づき、それを学習や日常生活に生かそうとしている。(学びに向かう力、人間性等)	二つの側面	A…主に文章や図、グラフから読み解き理解する力 B…主に他者とのやりとりから読み解き理解する力	三つのプロセス	①発見・蓄積 必要な情報を確かに取り出す ②分析・整理 情報を比較し、関連付けて整理する ③再構築 自分なりに解決し、知識を再構築する
----------------------	---	-------	--	---------	--

単元の流れ ○主な学習活動 □指導上の留意点	「読み解く力」を育成するための手立て	「読み解く力」の育成に重点をおいた目指す児童生徒の姿	
		A：文章・グラフ・図から	B：やりとりから
<p>①操作活動や体験を通して、「ならず」ことの意味を理解し、イメージをもつ。「平均」の用語とその意味や求め方について理解する。</p> <p>○「ならず」イメージをしっかりともてるように、3つのコップの牛乳の量をならず、体育科の走り幅跳びの土をならず等の活動を行う。</p> <p>□身の回りの場面を取り上げ、「ならず」場面をイメージしやすいようにしておく。また、イメージがもちやすく、操作がしやすいという点から、まずは、「連続量」で平均を扱うようにする。</p> <p style="border: 1px dashed green; padding: 2px;">○「第1回ペットボトルキャップつかみ」のゲームを行う。(チームの人数が異なる)</p> <p>②平均の意味や求め方を図や式等に表示して考え、説明している。求めた平均が小数で表せることを理解する。</p> <p>○「ペットボトルキャップつかみ」の結果から、「平均」を使って優勝チームを決める。</p> <p>□「平均」を用いて比べるとという目的意識をもてるように、子どもたちの「ずるい!」「公平じゃない!」という子どもの声が出るような人数が違うチームを編成する。</p> <p>□「平均」の意味や求め方の理解を深めるために、図や式やグラフ等を使って自分の考えを表したり、実際に積み木やペットボトルキャップを操作したりして、「平均」の理解をより深められるようにする。</p> <p>□「平均」は、小数を使って表すことがあることをおさえる。</p> <p style="border: 1px dashed green; padding: 2px;">○「第2回ペットボトルキャップつかみ」のゲームを行う。(新ルールを追加)  <small>※新ルール:もしも、ざんねんキャップをつかむとその人の得点は、0になる。</small></p> <p>③資料の中に0がある場合の平均の求め方を理解する。</p> <p>○図や式等を用いながら、資料の中に0がある場合の平均の求め方を考える。</p> <p>【考え1】0をぬいて計算する                      【考え2】0を入れて計算する</p> <p style="text-align: center;"> <math>(16+7+12+13) \div 4</math>                      <math>(16+0+7+12+13) \div 5</math> </p> <p>□児童の多様な考えと説明場面での多様な表現方法を比較・検討することで理解を深められるようにする。</p> <p>④「仮の平均」を使って、平均を求める方法を理解する。</p> <p>○「仮の平均」を使って平均を求めたり、外れ値を除外して平均を求めたりする。</p> <p>□目的に合った平均の求め方をおさえる。</p> <p>⑤平均を使って、もとの資料の大きさを求めたり、全体の量を推定したりする。</p> <p>○平均から全体の量を推定したり、もとの資料の大きさを求めたりする。</p> <p>⑥平均を使って歩幅を求めたり、歩幅を使っているいろいろな場所のおよその長さを測定したりする。</p> <p>○自分の1歩の歩幅を、平均を使って求め、いろいろな長さを調べる。</p> <p>⑦たしかめ問題を行い、平均の意味や求め方の理解を深める。</p>	<p>○<b>目的意識をもつ工夫</b></p> <p>単元の導入で、「ペットボトルキャップつかみ」というゲームを行う。人数が違うチーム対抗戦を行い、優勝チームを決めるためには、どうすればよいのかを問題とすることで、児童が目的意識をもてるようにする。また、取り上げる数値も工夫する。</p> <p>○<b>学びを実感できる学習展開の工夫</b></p> <p>・平均の意味をしっかりと理解できるように、積み木など具体物を活用し作業しながら確かめる操作活動を行う。操作したこと(意味)を図や式、グラフ等につなげられるようにする。</p> <p>・自分の考えを図や言葉や式等、多様な表現方法を用いて説明ができるように、学びの足跡が残る掲示物を準備する。</p> <p>◎友達の考えを自分の考えと比べたり、説明し合ったりする際、図や式だけを見て考える時間をとる。そうすることで友達がどのような道筋を立てて考えたのか読み取ったり、相手の思いや意図を明らかにしていったりしながら自分の考えを深めていく。</p> <p>・友達とのやりとりをする中で共通点や相違点に注目し、自分の考えを確かめたり、深めたりできるようにする。</p>	<p>A：文章・グラフ・図から</p> <p>①文章や資料を理解・評価しながら読む</p> <p>・データや資料を見たり、既習内容を振り返ったりして、目的に応じてデータの特徴や傾向などを取り出そうとしている。</p> <p>②様々な情報を比較し、推論しながら取り出したことをまとめる</p> <p>・自分の考えや友だちの考えを比較・検討する中で、共通点や相違点を見つけ出し、平均の求め方を考えている。</p> <p>③解釈した内容を経験や知識に結び付けて理解し、新たな情報と関連しながら創造していく</p> <p>・「平均」の用語とその意味や求め方や平均を用いることのよさを理解し、いろいろな場面について平均を求めようとしている。</p>	<p>B：やりとりから</p> <p>①相手の言葉、しぐさ、表情をもとに相手の思いを感じ取る</p> <p>③今までの経験に照らしながら、相手の意図や思いを正確に理解する</p> <p>・友達と説明し合ったり、発表したりするやりとりの中で、なぜそのように考えたのかを理解し、平均の求め方について考えを深めようとしている。</p> <p>③やりとりを通して、相手の意図や思いを取り入れたり、相違点を明らかにしたりしながら自分の考えを深め創造していく</p> <p>・友達と発表し合った自分の考え方や友達の考え方の中から、そのよさを明らかにし、自分の考えをより確かめ洗練したものになっている。</p>